

災害支援ナース養成研修 集合研修プログラム

開催日時	令和6年1月25日 9時30分から16時30分 令和6年1月26日 9時30分から15時30分
会場	埼玉県看護協会研修センター(西大宮)
目的	1. 災害・感染症等に関する基礎知識・技術を習得する 2. 応援派遣の概要を理解し、研修修了者として実際の派遣時に対応できる技能を習得する
	【災害】 1. 看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する 2. 災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する 3. 看護職として、被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する 4. 災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する
	【感染症】 1. 新型コロナなど新興感染症に関する基礎的知識を習得する 2. 新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する 3. 酸素療法、集中治療管理に関する基本知識を習得する 4. 新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基本知識を習得する
対象	災害・感染症に係る応援派遣対応看護職員を目指す者
時間	講義（オンデマンド）4日間：総論 120 分／災害各論 540 分／感染症各論 540 分 演習（集合研修） 2 日間：講義 60 分／災害 270 分／感染症 270 分

○プログラム

開催日	時間	研修内容
1/25 1 日目	10 分	オリエンテーション
	60 分	【講義】 埼玉県における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 ・埼玉県の災害・感染症に係る応援派遣・医療提供体制の状況や対策 (派遣の仕組み、登録含む) ・埼玉県看護協会における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動 災害支援ナースとしての心構え 講師：埼玉県保健医療部
	270 分	【演習（災害）】 災害時の看護職の活動の実際 1) 派遣決定から出発までの準備 ワーク：派遣決定までの調整と準備、派遣決定から出発までの準備、携行品、活動の原則 2) 支援者としての心構え 3) 活動場所の違いによる活動の特徴（医療機関、避難所） 4) CSCA（TTT） 5) 方針に沿った活動 ワーク：救急搬送や発熱者等の対応、新たな活動を依頼されたら、記録と報告、活動終了に向けて、帰還後に行うこと まとめ 講師：埼玉県看護協会災害看護対策委員
1/26	10 分	オリエンテーション

2 日目	270 分	【演習（感染症）】 感染拡大時の看護職の活動の実際 1) 感染拡大・重症化の予防 医療機関、療養施設、高齢者施設、避難所、自宅など施設ごとの違いや特徴を踏まえた標準予防策およびゾーニングの基礎を学ぶ ・手指衛生、PPE（個人防御具着脱・区域ごとのポイント、狭い空間や自宅等）の体験 ・ゾーニング（環境整備・廃棄物・寝具・食器の取り扱い、感染が拡大した場合のゾーニング、自分が指導する場合など）の体験 講師：埼玉県済生会加須病院 副看護部長 小美野 勝 2) 安楽な呼吸を保つための看護 感染予防策（PPE を装着）を実施したうえで、安楽な呼吸へのケアや日常生活援助を体験的に学ぶ 例）・酸素療法や吸引が必要な患者への対応 ・呼吸理学療法・体位ドレナージ／ポジショニングの実際 ・認知症患者など、感染対策を守れない患者への対応 ・清潔ケア時の全身観察と注意点の理解 3) 集中治療室内での管理 集中治療室で使用する医療機器及び生体モニターの管理及び生じやすいトラブルについての基礎的な知識を学ぶ ・トラブルシューティングなどの事例検討をおこなう 4) 他職種連携による医療提供 派遣先の医療機関等における指揮命令系統や各専門職が担う役割を理解し行動ができる ・他施設での連携の難しさや留意点を学ぶ 5) 患者・家族へのケア 応援派遣の際に生じる事例を通して、隔離による不安、意思決定支援、見取りケア、死亡時の対応を理解する 講師：埼玉医科大学国際医療センター 急性・重症患者看護専門看護師 中村 真巳 まとめ
-------------	--------------	--